

巻頭言

予防鍼灸研究会雑誌第2巻発行のごあいさつ

予防鍼灸研究会 会長 金井友佑

この度は予防鍼灸研究会の雑誌第2巻をお手に取っていただきありがとうございます。
この巻では、多くの関心を集める「ムクナ豆」にスポットを当てています。

私たちは、予防医学と養生の推進を使命とし、西洋医学と東洋医学の融合を探求しています。高齢化が進む社会で、多様な価値観を尊重しながら、鍼灸、漢方、現代医学を融合し、個々の健康をサポートする医療を目指しています。

2021年の第7回定例会と、2023年の特別例会では、「ムクナ豆とパーキンソン病」をテーマに取り上げました。今回の雑誌では、その講演をもとにした論文を多数掲載しています。

ムクナ豆はパーキンソン病という重大な健康課題に対し、新たなアプローチを提供する可能性を持っています。2012年の調査では、パーキンソン病患者の約43%が何らかの代替医療、特にサプリメントなど経口摂取するものを試みており、その中でもムクナ豆は効果を期待して購入した人の割合が高いことが報告されています。このデータは、ムクナ豆への高い期待を物語っており、私たちの研究と実践においても重要な意味を持ちます。

本巻では、ムクナ豆の医学的効用だけでなく、その栽培方法や調理法についても詳しく探求しています。これほど詳細で専門的な情報を集約したムクナ豆に関する内容は、他では見られない特徴的なものです。

この雑誌が、皆様の知識の共有と新たな視点の発見に寄与し、予防医学と養生の推進に貢献できることを願っています。

最後に第2巻発行にあたり多くの方の尽力により完成することができました。心より感謝を申し上げます。